



# NFSでのKerberos使用によるセキュリティ強化

## ONTAP 9

NetApp  
February 12, 2026

# 目次

NFSでのKerberos使用によるセキュリティ強化	1
ONTAP の Kerberos に対する NFS サポート	1
ONTAP NFSでKerberosを設定するための要件	1
ネットワーク環境の要件	2
NFSクライアントの要件	2
ストレージシステムの要件	3
NFSv4のONTAPユーザーIDドメインを指定します	6

# NFSでのKerberos使用によるセキュリティ強化

## ONTAP の Kerberos に対する NFS サポート

Kerberosは、クライアント / サーバ アプリケーションに対して強力でセキュアな認証を提供し、サーバに対してユーザおよびプロセスのIDの検証機能を提供します。ONTAP環境では、Storage Virtual Machine (SVM) とNFSクライアント間の認証をKerberosで実行できます。

ONTAP 9では、次のKerberos機能がサポートされます。

- 整合性チェック機能を備えたKerberos 5認証 (krb5i)

Krb5iでは、チェックサムを使用して、クライアントとサーバとの間で転送される各NFSメッセージの整合性を検証します。これは、セキュリティ上の理由（データが改ざんされていないことの保証など）とデータ整合性に関する理由（信頼性の低いネットワークでNFSを使用する場合のデータ破損の防止など）の両方で有用です。

- プライバシー チェック機能を備えたKerberos 5認証 (krb5p)

krb5pでは、クライアントとサーバ間のすべてのトランザクションがチェックサムで暗号化されます。これによって安全性は高まりますが、負荷も高くなります。

- 128ビットおよび256ビットのAES暗号化

Advanced Encryption Standard (AES) は電子データを保護するための暗号化アルゴリズムです。ONTAPでは、セキュリティ強化のために、128ビットキーによるAES (AES-128) と256ビットキーによるAES (AES-256) がKerberosでサポートされています。

- SVMレベルのKerberos Realm設定

SVM管理者は、Kerberos Realm設定をSVMレベルで作成できるようになりました。つまり、SVM管理者は、Kerberos Realm設定に関してクラスタ管理者に頼る必要がなくなり、個別のKerberos Realm設定をマルチテナント環境で作成することができます。

## ONTAP NFSでKerberosを設定するための要件

NFSでKerberosを使用するための設定をシステムで行う前に、ネットワークおよびストレージの環境のいくつかの項目について、適切に設定されていることを確認する必要があります。



環境を設定する手順は、クライアントで使用しているオペレーティング システム、ドメイン コントローラ、Kerberos、DNSなどのバージョンや種類によって異なります。このドキュメントでは、それらのすべてについては説明していません。詳細については、それぞれのコンポーネントの対応するドキュメントを参照してください。

Windows Server 2008 R2のActive DirectoryおよびLinuxホストを使用する環境でのONTAPとKerberos 5およびNFSv3 / NFSv4の設定方法に関する詳しい例については、テクニカル レポート4073を参照してください。

次の項目について事前に設定しておく必要があります。

## ネットワーク環境の要件

- Kerberos

KerberosをKey Distribution Center（KDC;キー配布センター）で設定しておく必要があります（たとえば、Windows Active DirectoryベースのKerberosまたはMIT Kerberos）。

NFSサーバは、マシン プリンシパルのプライマリ コンポーネントとして`nfs`を使用する必要があります。

- ディレクトリ サービス

Active DirectoryやOpenLDAPなどのセキュアなディレクトリ サービスを環境に導入し、SSL / TLS経由のLDAPを使用するように設定する必要があります。

- NTP

タイム サーバでNTPを実行している必要があります。これは、時刻のずれによるKerberos認証の失敗を回避するために必要です。

- ドメイン名解決 (DNS)

それぞれのUNIXクライアントおよびSVM LIFについて、KDCの前方参照ゾーンと逆引き参照ゾーンに適切なサービス レコード (SRV) が登録されている必要があります。すべてのコンポーネントは、DNSで正しく解決できる必要があります。

- ユーザ アカウント

各クライアントは Kerberos レーム内にユーザーアカウントを持っている必要があります。NFSサーバーは、マシンプリンシパルのプライマリコンポーネントとして“nfs”を使用する必要があります。

## NFSクライアントの要件

- NFS

NFSv3またはNFSv4を使用してネットワーク経由で通信するように各クライアントが適切に設定されている必要があります。

クライアントでRFC1964およびRFC2203がサポートされている必要があります。

- Kerberos

Kerberos認証を使用するように各クライアントが適切に設定されている必要があります。詳細は次のとおりです。

- TGS 通信の暗号化が有効になっています。  
非常にセキュリティ性の高いAES-256。
- TGT 通信に最も安全な暗号化タイプが有効になっています。
- Kerberos 領域とドメインが正しく設定されています。
- GSSが有効。

マシンのクレデンシャルを使用する場合：

- `gssd`を `-n` パラメータを付けて実行しないでください。
  - `kinit` をrootユーザーとして実行しないでください。
- 各クライアントは、最新かつ更新済みバージョンのオペレーティング システムを使用している必要があります。

これにより、KerberosでのAES暗号化の互換性と信頼性が最大限確保されます。

- DNS

DNSを使用して名前が正しく解決されるように各クライアントが適切に設定されている必要があります。

- NTP

各クライアントがNTPサーバと同期されている必要があります。

- ホストとドメインの情報

各クライアントの `/etc/hosts` および `/etc/resolv.conf` ファイルには、それぞれ正しいホスト名とDNS情報が含まれている必要があります。

- keytabファイル

各クライアントについて、KDCのkeytabファイルが必要です。Realmは大文字で指定する必要があります。最高レベルのセキュリティを得るために、暗号化タイプをAES-256にする必要があります。

- オプション：パフォーマンスを最大限に高めるには、ローカル エリア ネットワークとの通信用とストレージ ネットワークとの通信用に、少なくとも2つのネットワーク インターフェイスを設定します。

## ストレージ システムの要件

- NFSライセンス

ストレージ システムに有効なNFSライセンスがインストールされている必要があります。

- CIFSライセンス

CIFSライセンスはオプションです。マルチプロトコルのネーム マッピングを使用する環境で、Windows クレデンシャルのチェックを行う場合にのみ必要になります。純粋なUNIXのみの環境では必要ありません。

ん。

- SVM

システムでSVMを少なくとも1つ設定しておく必要があります。

- SVMでのDNS

各SVMでDNSを設定しておく必要があります。

- NFS サーバ

SVMでNFSを設定しておく必要があります。

- AES暗号化

最高レベルのセキュリティを得るために、KerberosでAES-256暗号化のみを許可するようにNFSサーバを設定する必要があります。

- SMB サーバ

マルチプロトコル環境の場合は、SVMでSMBを設定しておく必要があります。SMBサーバはマルチプロトコルのネーム マッピングに必要です。

- ボリューム

SVMで使用するルート ボリュームと少なくとも1つのデータ ボリュームを設定しておく必要があります。

- ルート ボリューム

SVMのルート ボリュームを次のように設定しておく必要があります。

Name	設定
セキュリティ形式	UNIX
UID	rootまたはID 0
GID	rootまたはID 0
UNIX権限	777

ルート ボリュームとは異なり、データ ボリュームのセキュリティ形式は任意に設定してかまいません。

- UNIXグループ

SVMで次のUNIXグループを設定しておく必要があります。

グループ名	グループID
daemon	1
root	0
pcuser	65534 (SVMを作成すると自動的に作成されます)

- UNIXユーザ

SVMで次のUNIXユーザを設定しておく必要があります。

ユーザ名	ユーザーID	プライマリ グループID	コメント
nfs	500	0	GSS INITフェーズで必要  NFSクライアント ユーザのSPNの最初のコンポーネントがユーザとして使用されます。
pcuser	65534	65534	NFSとCIFSのマルチプロトコルで必要  SVMの作成時に、ONTAPによって自動的に作成されてpcuserグループに追加されます。
root	0	0	マウントに必要

NFSクライアント ユーザのSPNに対するKerberos-UNIXネーム マッピングがある場合は、nfsユーザは必要ありません。

- エクスポート ポリシーとエクスポート ルール

ルートボリューム、データボリューム、およびqtreeに必要なエクスポート ルールを含むエクスポート ポリシーを設定しておく必要があります。SVMのすべてのボリュームがKerberos経由でアクセスされる場合は、ルートボリュームのエクスポート ルール オプション -rorule、-rwrule、および -superuser`を `krb5、krb5i、または`krb5p`に設定できます。

- Kerberos-UNIXネーム マッピング

NFSクライアント ユーザのSPNによって識別されたユーザにroot権限を持たせる場合は、rootに対するネーム マッピングを作成する必要があります。

## 関連情報

["NetAppテクニカル レポート4073: 『Secure Unified Authentication』"](#)

"NetApp Interoperability Matrix Tool"

"システム管理"

"論理ストレージ管理"

## NFSv4のONTAPユーザーIDドメインを指定します

ユーザIDドメインを指定するには、`-v4-id-domain`オプションを設定します。

### タスク概要

デフォルトでは、ONTAPはNISドメインが設定されている場合、NFSv4ユーザIDマッピングにNISドメインを使用します。NISドメインが設定されていない場合は、DNSドメインが使用されます。例えば、複数のユーザIDドメインがある場合は、ユーザIDドメインの設定が必要になることがあります。ドメイン名はドメインコントローラのドメイン設定と一致する必要があります。NFSv3では必要ありません。

### 手順

1. 次のコマンドを入力します。

```
vserver nfs modify -vserver vserver_name -v4-id-domain NIS_domain_name
```

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。